

多読クラブ会員様へ

### 書籍追加のお知らせ

SSSでもわりと評判の高い Mr. Putter & Tabby シリーズから 12 冊、YL 1.4 のやさしめの児童書です。

● Mr. Putter & Tabby Pour the Tea Y.L.1.4 総語数 600

ひとりぼっちで暮らしていたおじいさんの Mr.Putter と黄色い年老いたネコ Tabby の出会いのお話。お互いを思いやる気持ちにあふれたステキな一冊。ネコ好きな方にもおすすめです。

● Mr. Putter & Tabby Fly the Plane Y.L.1.4 総語数 900

Mr. Putter は子どもの頃から飛行機が大好き。ある日、愛猫の Tabby と出かけたおもちゃ屋で、ステキなラジコンの飛行機をみつけます。ひとめぼれした Mr. Putter はすぐに購入し、外で飛ばします。次第に子どもたちが集まってきました。そして Mr. Putter は・・・ほか、以下の10冊

● Mr. Putter & Tabby Row the Boat Y.L.1.4 総語数 700

● Mr. Putter & Tabby Catch the Cold Y.L.1.4 総語数 700

● Mr. Putter & Tabby Walk the Dog Y.L.1.4 総語数 700

● Mr. Putter & Tabby Toot the Horn Y.L.1.4 総語数 600

● Mr. Putter & Tabby Take the Train Y.L.1.4 総語数 600

● Mr. Putter & Tabby Stir the Soup Y.L.1.4 総語数 700

● Mr. Putter and Tabby Feed the Fish Y.L.1.4 総語数 700

● Mr. Putter & Tabby Bake the Cake Y.L.1.4 総語数 900

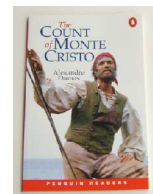
● Mr. Putter & Tabby Write The Book Y.L.1.4 総語数 700

● Mr. Putter & Tabby Pick the Pears Y.L.1.4 総語数 800



● The Count of Monte Cristo Y.L.3.2 総語数 13000 (ペンギン GR3)

エドモン・ダンテは優秀な船乗りだったが、ナポレオンからの密書を運んだ嫌疑で結婚式の日に捕えられ、マルセイユ沖の島の牢獄に閉じこめられた。隣獄に投獄されていた修道士ファリアと親しくなり、彼は死ぬ間際にモンテ・クリスト島にある巨額の財宝の隠し場所を教えてくれた。ダンテは脱走に成功する。登場人物が多いので名前を覚えるのが大変であるが、さすが名作、話は面白い。



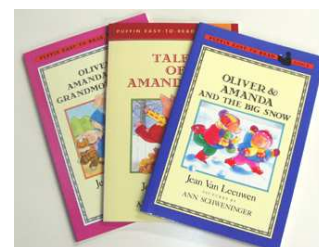
以下、Puffin Easy to Read シリーズから 15 冊です。すべてレベル2から選んだのですが、総語数が 200~1800 とかなり開きがあり、読みやすさレベルもいろいろです。(取り置き予約は hemmi@e-pal.co.jp が確実です。)

● Oliver, Amanda, and Grandmother Pig Y.L.1.3 総語数 1800

ぶたの Oliver ちゃんと Amanda ちゃんの家におばあちゃんが遊びに来ることになりました。「一緒に本を読もう」と Amanda、「一緒に積み木で高層ビルを造ろう」と Oliver くん。ところが.. そうはいかなかったのです。がっかりする2人。でもやっぱりおばあちゃんがいて楽しいことは沢山ありました。いつもほのぼのぶたさん一家。うるさいほど元気でいたずらなちびっこに手をやくママにも、疲れたときにはこの1冊を!

● Oliver & Amanda and the Big Snow Y.L.1.5 総語数 1800

雪が沢山降りました。ぶたの Oliver ちゃんと Amanda ちゃんは、雪支度で着ぶくれて元気に遊びます。Amanda ちゃんは深い雪に埋もれてしまって何度もおとうさんに掘り出して貰いましたけれど。。



● Tales of Amanda Pig Y.L.1.3 総語数 2200

ぶたの Oliver くんの妹 Amanda ちゃんは卵が嫌い。かあさんはどうやって Amanda に卵を食べさせるのでしょうか? そしてお外に行けない雨の日には何をして遊ぶの? お2階にモンスターがいるみたい。お父さんはどうやって退治してくれるのでしょうか? おにいちゃんと喧嘩しちゃったら? ほのぼのゆったりしたぶたさん一家の暮らしぶりは、子供だけでなく、ちびっこのお世話に忙しいママの心も癒してくれることでしょう。イラストは Ann Schweninger です。

● Three Up a Tree Y.L.1.5 総語数 700

Spider と Sam が作った木の家に Lolly がやってきて、その家に入りたいと言います。二人が断ると Lolly はかわりにお話をしなると言い出します。そして、3人がそれぞれ物語を語りだします。誰のストーリーが一番面白いで

しょうか？

●Three by the Sea Y.L.1.3 総語数 950

Lolly、Spider と Sam はビーチでピクニックを。そこで3人はそれぞれ本を読むことに。さて誰の話が一番怖い？



●The Three Little Pigs Y.L.0.5 総語数 400

3匹の子ぶたが、藁・木・煉瓦の家を建てるお馴染みのお話。リズム感のある繰り返しの多い文章で、声に出して読むための本でしょう。

●The Princess and the Pea Y.L.0.5 総語数 300

本当のお姫さまと結婚したい王子さま。でもどこにもいない。ある日、自称本当のお姫さまがずぶぬれで現れた。彼女は本物か？とてもシンプルで分かりやすい話。

●The Teeny-Tiny Woman Y.L.0.5 総語数 200

teeny-tiny houseに住む teeny-tiny womanのお話です。teeny-tiny womanは、夕食のために、お墓であるものを拾ってくるのですが……。とにかく「teeny-tiny」が何度も何度も出てきます。少し怖いイラストが特徴的です。

●Winnie-The-Pooh and Some Bees Y.L.1.5 総語数 1300

おなじみの、くまのプーさんシリーズの一冊。

●A Polar Bear Can Swim Y.L.0.5 総語数 200

“A polar bear can swim.”という文に始まり、「Aの動物はこれはできるが、これはできない。Bの動物はそれはできるが、これができない。」という風に次々といろいろな動物に目を向けていく形式。最後はまた“A polar bear can swim.”に戻って終わります。



●Milo's Toothache Y.L.0.5 総語数 600

ぶたのMiloは歯が痛くなって歯医者さんに行くことになりました。ひつじのDanが「怖くないように付いていく」と言ったのですが、Danの方が怖くなってお友達のアmyを誘い... 最後にはオチがついています。

●The Pizza That We Made Y.L.0.5 総語数 250

三人の兄弟がピザを作ります。特にストーリーがある訳ではなく、単にピザの作り方を説明しているだけですが、言えそうと言えない料理に関する表現や単語が満載です。挿絵を見れば意味はすぐ解りますから、日常生活面での表現を磨きたい向きには是非。

●The Garden That We Grew Y.L.0.5 総語数 250

子どもたちが、かぼちゃのたねを植え、育て、収穫して、パイやかぼちゃちゃんを作るまでのお話です。かぼちゃが育つまでの、畑の季節の移り変わりが丁寧に描かれています。

●Kitty Riddles Y.L.1.0 総語数 400

ネコにまつわる謎々34問。答えを見てもわからないのが半分はあるでしょう。



●It's Justin Time, Amber Brown Y.L.1.5 総語数 1700

Amber Brownは、7才の誕生日に時計が欲しい。いつも時間に遅れる仲良しのJustinは、”just in time”でパーティに間にあうかな？日常が楽しく描かれています。絵本から児童書への入門編としても最適。

編集後記：大学生の多くはYL1.0のGRが読めない？

先日、SEG（多読学会の本部となっている新宿の予備校）の古川さんの講演会で聞いた話なのですが、岡山大学の学生に対する多読指導の一環で、ペンギンのスターター（YL0.9くらい）を読ませてみたところ、スラスラと楽に読むことができた学生は約2割しかいなかったとのこと。チョー驚きです。なぜあのレベル（中2くらい）が読めないのか原因を探ると、「全部日本語に訳そうとする」「知らない単語でいちいちストップ」なのだそうです。これは岡山大学に限らず、一般的な地方の国立大レベルではよくある話で、実際には、かなり難関と言われる大学においても、よくあること、なのだそうです。

ちなみにSEGではここ3年ほど中学一年生から多読指導をしていて、中一で始めた生徒たちの約8割が、1年後にマジックツリーハウスあたりが約8割の理解で読めるようになっていたとの報告がありました。

この夏も Happy Reading! ヘンミ